

- コロナ禍における採択大学の対応状況を共有し、現状の課題や気づきを顕在化
⇒ ポストコロナにおける「大学の国際化」の在り方を議論
- 高等教育における「ニューノーマル」について議論し海外にも発信
⇒ 新たな高等教育の姿を描き、我が国の大学の存在感を世界にアピール

- ◆ 6月30日 S G U及び展開力採択校大学を対象としたキックオフウェビナー
(主催：東京大学)
→採択校向けに実施したアンケート結果の報告や、名古屋大学、千葉大学、関西大学、早稲田大学からポストコロナに向けた検討状況について報告、ディスカッション
- ◆ 9月30日【第1回】 テーマ「コロナ禍の高等教育における国際連携」
(主催：慶應義塾大学)
→パリ政治学院、香港中文大学及び慶應義塾大学から、国際交流の実践事例の紹介及び自由討議
→参加者434名(34か国)
- ◆ 11月30日【第2回】 テーマ「アフターコロナにおける高等教育の国際化を考える」
(主催：立命館大学)
→高等教育におけるニューノーマルに向けた事例を広島大学、国際教養大学、立命館大学から報告。
証明書類電子化ナショナル・プロジェクトの紹介。サイモン・マージンソンオックスフォード大学教授による
高等教育とコロナ禍の世界的な展開についてコメント。
→参加者264名(24か国)

※ S G U 基幹ウェブサイト (<https://tgu.mext.go.jp/>) 上で各回の講演資料等を公表